

平成18年度八潮市一般会計予算は 231億2,000万円 (前年度比12.6パーセント増)

固財政課 ☎内 306・477

平成18年度一般会計および特別会計予算などが、平成18年第1回市議会定例会(2月28日～3月20日)に提出され、原案のとおり可決されました。今号では、施政方針と平成18年度予算の概要をお知らせします。

施政方針(抜粋)

市の長年の悲願でありました、つくばエクスプレスが多くのお客様の皆さんのご理解、ご協力により昨年8月に開業しました。

これからは、市のシンボルとして、そして、誰からも愛される鉄道となるよう、市民の皆さんとともに、育てていきたいと思っております。

八潮駅の周辺においては、北口交通広場を中心として店舗、事務所、共同住宅などの建築が始まり、さらに、北口共同利用街区においては、商業施設や市の行政施設を含む住宅棟の整備が着実に進められています。

「つくばエクスプレス・八潮駅」の開業に伴い、沿線自治体間で住民満足度の向上のための施策を競い合う、新たな都市間競争が始まったといっても過言ではありません。

今後も引き続き、本市の持っている資源を最大限に引き出し、「これだけは他の自治体に負けない」というものを創出し、「品格と活力のある八潮」のまちづくりを目指し、市民の皆さんとともに考え、ともに歩みながら、全力で取り組んでいきます。

いと思えます。さて、現下の我が国の社会経済をみますと、平成17年度版経済財政白書では、所得環境の改善により、バブル経済崩壊の長期にわたる景気低迷を抜け出したとしているものの、原油高の長期化などの不安要因もあり、依然として不透明なものがあるとされています。

本市の行財政についても、三位一体改革など様々な制度改革が押し進められている中、平成17年度においては、普通交付税が不交付となるなど、引き続き非常に難しい運営を迫られています。

このような状況下にあっても、市民ニーズに的確に対応し、市政の重要課題に積極的かつ適切に取り組んでいきたいと思っております。

平成18年度予算

主な施策について、6つの分野に整理し説明します。

1 かいてき

新時代を支える都市の形成

バス利用動向調査

駅開業後の交通利用動向を把握するため、バス利用動向を調査します。

景観計画策定

良好な景観のまちづくりを進めていくため、具体的な基準となる景観計画を策定します。

南部地区土地区画整理事業負担金

活気あふれる産業の形成

- 農業近代化施設導入事業補助
温室やビニールハウス等の施設の設置や、張り替えにかかわる経費に対する補助制度を充実します。
- 地産地消推進協議会補助
地元農産物の消費拡大を目的として、駅周辺などで直売を行う協議会に対し、補助金を交付します。
- さくらカード支援事業補助
市内商店や商店会が実施している、さくらシールをポイントカード化するための事業に対して、補助金を交付します。

2 やすらぎ

心やすらぐ安全な生活環境の形成

●駅前行政施設ネットワーク整備
駅前行政施設で住民票発行などの業務を行うため、市役所とのネットワークを整備します。

八都県市合同防災訓練

埼玉県や東京都など首都圏の八都県市が合同で行っている、防災訓練の埼玉県会場を八潮市で実施します。

粗大ごみ日曜日収集・選別業務

粗大ごみの日曜日収集・選別業務を月2回実施します。

3 ふれあい

明るく生きがいにみちた社会の形成

障害者就労支援センターの設置

障害のある方の自立や社会参加を促進するため、就労に関する情報提供や相談業務を行い、求職活動を支援します。

児童手当の支給

児童手当法の改正により、支給対象を、これまでの小学校第3学年終了前から小学校第6学年終了前までの児童を養育する方に拡大します。

保育事業の委託

待機児童の解消を図るため、私立保育所に対し、保育事業を委託します。

4 ちから

●語学指導助手派遣委託
中学校で実施している英語科の語学指導助手を、新たに民間派遣業者からの委託により、実施します。

小・中学校校舎等耐震診断委託

八幡小学校および八幡中学校の校舎等について第二次耐震化診断を実施します。

八條中学校改修事業

小中一貫教育のモデル校開設のため、必要な改修工事を行います。

5 はぐくみ

市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成

市町村電子申請共同システム導入

住民票の写し請求や納税証明交付申請などの申請・届出が、インターネットにより24時間いつでも行えるようになります。

コンビニ納税

市・県民税などの市税について、コンビニ11社16チェーン店、全国約4万店舗、市内では25店舗で納付ができるようになります。

戸籍の電算化

戸籍事務を電算化し、戸籍の届け出処理日数や証明発行時間の短縮を行います。

平成18年度予算における重点事業(新)新規事業・(拡)拡充事業

1 かいてき 新時代を支える都市の形成

拡	コミュニティバス実証運行委託	20,038千円
新	バス利用動向調査	1,260千円
拡	景観計画策定	3,935千円
拡	南部地区土地区画整理事業負担金	702,200千円
拡	土地区画整理事業公共施設管理者負担金	350,000千円

3 ふれあい 明るく生きがいにみちた社会の形成

新	コミュニティ施設特別整備事業補助	20,000千円
新	障害者就労支援センターの設置	1,007千円
新	障害福祉計画の策定	2,192千円
拡	在宅介護支援センターの増設	22,384千円
拡	児童手当の支給	566,711千円
拡	保育事業の委託	56,476千円
新	健康増進計画の策定	1,010千円

5 はぐくみ 明日の八潮を担う人づくり環境の形成

新	語学指導助手派遣委託	13,200千円
新	小・中学校校舎等耐震診断委託	18,034千円
新	八條中学校改修事業	98,120千円
新	文化スポーツセンター駐車場用地取得	50,531千円

2 やすらぎ 心やすらぐ安全な生活環境の形成

新	駅前行政施設ネットワーク整備	6,168千円
拡	地域防災計画(地震編)修正委託	7,500千円
新	八都県市合同防災訓練	4,500千円
拡	ペットボトル全集積所分別収集委託	15,892千円
新	粗大ごみ日曜日収集・選別業務	785千円
新	消防庁倉用地取得、設計委託	87,700千円

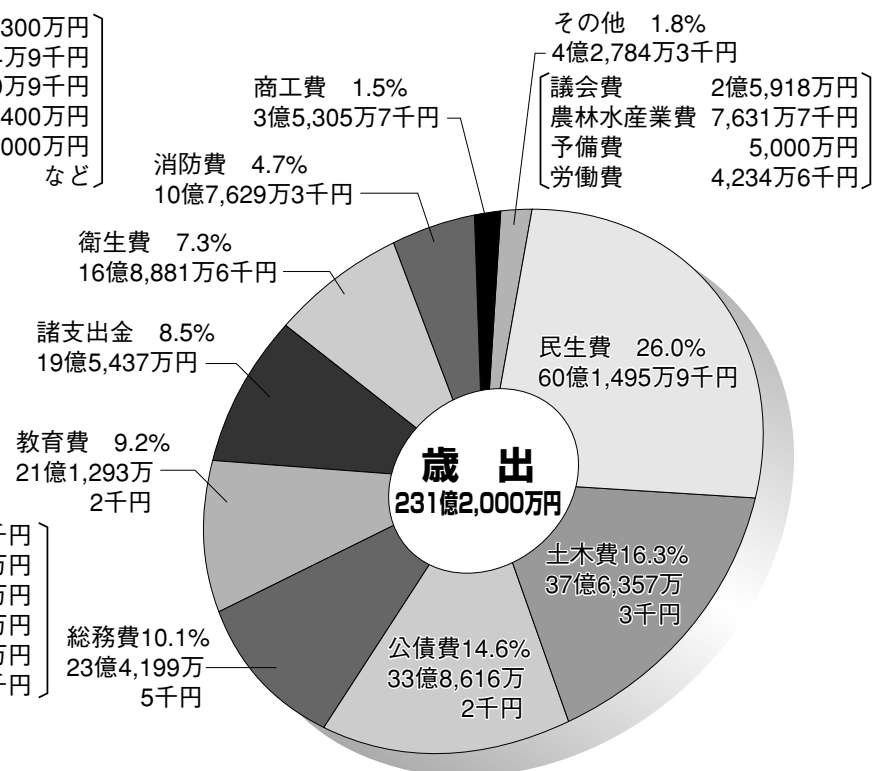
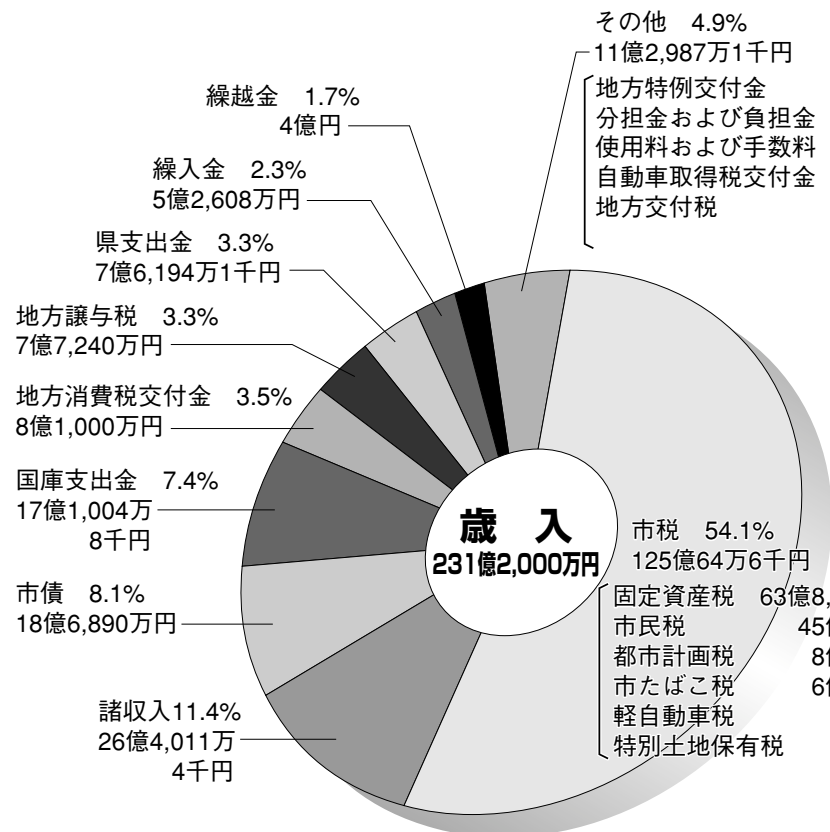
4 ちから 活気あふれる産業の形成

拡	農業近代化施設導入事業補助	1,200千円
新	地産地消推進協議会補助	300千円
新	さくらカード支援事業補助	2,000千円
拡	商店街装飾型街路灯電気料補助	753千円

6 すいしん 市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成

新	市町村電子申請共同システム導入	4,109千円
新	埼玉県電子入札共同システム導入	3,293千円
新	コンビニ納税	12,174千円
新	戸籍の電算化	86,469千円

一般会計の歳入・歳出予算



(歳入項目の説明)

- 市税………市民税や固定資産税など
- 諸収入………学校給食費や預金利子など
- 市債………公共施設整備などのために、市が国や金融機関から借りるお金
- 国庫支出金………市が行う特定の事務・事業に対して国から支払われるお金
- 地方消費税交付金………消費税のうち、八潮市分として交付されるお金
- 地方譲与税………国税として徴収した税のうち、八潮市分として交付されるお金
- 県支出金………市が行う特定の事務・事業に対して県から支払われるお金
- 繰入金………歳入の不足額を補うため、基金(預金)から繰り入れるお金
- 繰越金………前年度から次の年度に持ち越したお金

(歳出項目の説明)

- 民生費………高齢者・障害者・児童の福祉などに使うお金
- 土木費………道路の建設・公園の整備などに使うお金
- 公債費………市が借りた、土木債・教育債などの返済に使うお金
- 総務費………住民票などの発行、庁舎の維持・管理などに使うお金
- 教育費………学校の管理、図書館、スポーツ振興などに使うお金
- 諸支出金………土地の購入や土地開発公社への貸付金などに使うお金
- 衛生費………ごみの処理、保健・環境衛生などに使うお金
- 消防費………消防力・救急力の強化に使うお金
- 商工費………商業・工業の発展などに使うお金
- その他………議会の運営、農業振興、労働施策などに使うお金

会計別予算総括表

(単位:千円、%)

会計区分	年度	平成18年度 予算額 A	平成17年度 予算額 B	比較 C(A-B)	対前年度比 C/B×100
一般会計		23,120,000	20,530,000	2,590,000	126
特別会計の内 容	国民健康保険	7,985,908	7,991,300	△ 5,392	△ 0.1
	公共下水道	3,610,000	3,526,000	84,000	2.4
	老人保健	3,371,539	3,280,159	91,380	2.8
	稲荷伊草第二土地区画整理	147,340	93,425	53,915	57.7
	鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理	232,656	203,329	29,327	14.4
	大瀬古新田土地区画整理	547,178	546,767	411	0.1
	西袋上馬場土地区画整理	177,003	207,704	△ 30,701	△ 14.8
	南部東一体型特定土地区画整理	2,110,000	2,808,000	△ 698,000	△ 24.9
	介護保険	2,104,984	1,971,591	133,393	6.8
	小計	20,286,608	20,628,275	△ 341,667	△ 1.7
上水道事業会計(企業会計)		3,658,319	2,998,694	659,625	22.0
合計		47,064,927	44,156,969	2,907,958	6.6

八潮家の家計簿



八潮市の平成18年度一般会計予算を「八潮家の家計簿(市民1人当たり)」に置き換えると、おおよそ下記のとおりとなります。

※予算額を人口76,471人(平成18年1月1日現在)で割り、千円未満を四捨五入しています。

収入(歳入)		支出(歳出)	
給料(市税)	163,000円	食費(人件費)	77,000円
実家からの援助(国・県支出金、地方交付税など)	62,000円	家の増改築費(普通建設事業費)	47,000円
家賃収入(分担金・負担金、使用料・手数料など)	6,000円	借金の返済(公債費)	44,000円
銀行からの借り入れ(市債)	24,000円	衣料代・光熱水費(物件費)	42,000円
預金取り崩し(繰入金)	7,000円	医療費(扶助費)	39,000円
雑収入(諸収入など)	35,000円	子どもへの仕送り(繰出金)	29,000円
前月の余り(繰越金)	5,000円	自治会などの会費(補助費など)	22,000円
		その他(維持補修費など)	2,000円
合計	302,000円	合計	302,000円

八潮家では、収入の約半分が給料(市税)となっており、残りは、実家からの援助(国・県からの支出金等)や銀行からの借り入れ(市債)などでまかっています。また、支出では、食費(人件費)が一番多く、次いで家の増改築費(普通建設事業費)、借金の返済(公債費)の順となっています。